



Cisco Aironet AIR-ANT2480V-N 8-dBi 全方向性 アンテナ

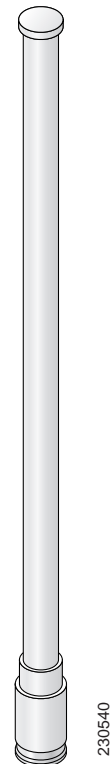
このドキュメントでは、Cisco Aironet ANT2480V-N 8 dBi 全方向性アンテナの仕様、概要、および取り付け手順について説明します。アンテナは、2,400MHz 周波数範囲で動作し、Cisco Aironet 1500 シリーズ Lightweight 屋外 Mesh アクセス ポイントと併用して屋外で使用するよう設計されています。

このドキュメントには、次の情報が掲載されています。

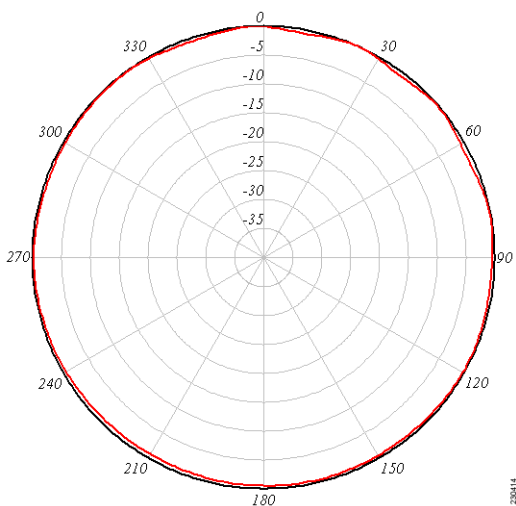
- [技術仕様 \(P. 2\)](#)
- [システム要件 \(P. 4\)](#)
- [安全に関する注意事項 \(P. 4\)](#)
- [取り付け上の注意事項 \(P. 5\)](#)

技術仕様

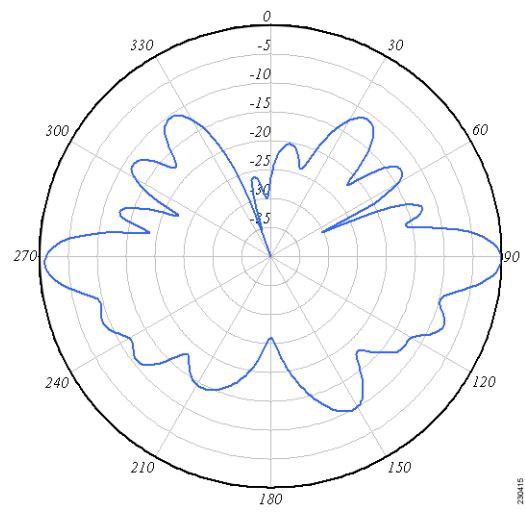
アンテナのタイプ	全方向性(コリニアアレイ)
動作周波数範囲	2,400 ~ 2,484MHz
VSWR	< 1.7:1
ゲイン	8dBi
偏波	直線、垂直
水平電力半値幅	10°
垂直電力半値幅	全方向性
長さ	49.5cm (19.5 インチ)
管径	1.91cm (0.75 インチ)
ケーブルの長さ とタイプ	なし
コネクタ	N オス
動作温度	30 °C ~ +70 °C -22 ~ 158 F
耐風速	100 マイル /h (動作時)、 165 マイル /h (瞬間最大) (160km/h(動作時)、265km/h (瞬間最大))



水平面内放射パターン



垂直面内放射パターン



次の表は、アクセスポイントのラジオとアンテナ間の最小要求減衰量を示しています。高い RF 出力の設定を使用するには、より多くの減衰量が必要になります (指定アンテナの場合)。

減衰は、減衰器、同軸ケーブルの損失、またはこれら両方の併用のいずれかで実現できます。この減衰は、表示された国での法的規制にシステムを適合させるために必要です。表示されている減衰の最小量を取り付けなかった場合には、不適合の運用となります。表 1 は、dB 単位の要求減衰量を示しています。



(注) Xは、該当のアンテナが、その国での使用を許可されていないことを示します。

表 1 要求減衰量 (dB)

	2.4GHz アンテナ (802.11 B/G)			5GHz アンテナ (802.11 A)		
	AIR-ANT2480V-N 2.4GHz 8dBi 全方向性	AIR-ANT2410Y-R 2.4GHz 10dBi 八木	AIR-ANT2414S-R 2.4GHz 14dBi セクター	AIR-ANT58G10SSA-N 5GHz 9.5dBi セクター	AIR-ANT5114P-N 4.9 ~ 5.8GHz 14dBi パッチ	AIR-ANT5117S-N 4.9 ~ 5.8GHz 17dBi セクター
アジア						
オーストラリア	なし	なし	なし	なし	1	4
中国	なし	なし	なし	なし	1	4
香港	なし	なし	なし	なし	1	4
インド	なし	なし	なし	X	X	X
日本	なし	X	X	X	X	X
韓国	X	X	X	X	X	X
ニュージーランド	なし	なし	なし	なし	1	4
シンガポール	なし	1	5	なし	1	4
台湾	なし	X	X	なし	X	X
タイ	なし	1	5	X	X	X
欧州連合 (EU)						
ベルギー	なし	1	5	なし	2	5
デンマーク	なし	1	5	なし	2	5
フィンランド	なし	1	5	なし	2	5
フランス	なし	1	5	なし	2	5
ドイツ	なし	1	5	なし	2	5
イタリア	なし	1	5	なし	2	5
オランダ	なし	1	5	なし	2	5
ノルウェー	なし	1	5	なし	2	5
スペイン	なし	1	5	なし	2	5
スウェーデン	なし	1	5	なし	2	5
スイス	なし	1	5	なし	2	5
イギリス	なし	1	5	なし	2	5
北アメリカ						
アメリカ合衆国	なし	X	X	なし	なし	なし
カナダ	なし	X	X	なし	なし	なし
メキシコ	なし	なし	なし	なし	1	4
南アメリカ						
ブラジル	なし	なし	なし	なし	1	4

システム要件

このアンテナは Cisco Aironet アクセス ポイントおよびブリッジでの使用を目的として設計されていますが、N コネクタを使用する Cisco Aironet 無線デバイスでも使用できます。

安全に関する注意事項



警告

このアンテナを電力線の近くに設置するのは危険です。安全のために、次の設置方法の指示に従ってください。

アンテナを設置しようとして、毎年多くの方が亡くなったり怪我をしたりしています。事故に遭われた方の多くは感電の危険を認識していましたが、事故を避けるための適切な手順を取っていませんでした。

安全を確保し、適切に設置するために、ここに記載する安全に関する注意事項を読み、その指示に従ってください。これは、事故防止につながります。

1. はじめてアンテナを設置する場合は、自身と周囲の安全のため、専門家の指示を仰いでください。取り付けようとするアンテナのサイズやタイプに応じた取り付け方法は、シスコの営業担当者にご相談ください。
2. 設置場所を選択する際は、パフォーマンスと同様に安全性にも注意してください。電力線と電話線は似ていることを忘れないでください。安全のため、すべての電力線は死傷事故につながるおそれがあることを認識しておいてください。
3. 地域の電力会社に連絡してください。設置計画を通知し、設置案を実際に見て確認するよう依頼してください。これは、危険を防ぐには適切な要請といえます。
4. 慎重に設置計画を立てて、計画が完成してから実行に移ってください。マストやタワーを適切に建てられるかどうかは、連携作業の問題である場合がほとんどです。特定のタスクごとにそれぞれの担当者を割り当て、実行する内容とタイミングを認識してもらいます。責任者を1人割り当て、指示を出したり、トラブルの兆候がないかを監視してもらいます。
5. アンテナの設置時には、次のことを忘れないでください。
 - a. 金属製のはしごを使用しない。
 - b. 雨の日または風の強い日に作業しない。
 - c. ゴム底の靴をはき、ゴム手袋をして、長袖のシャツまたはジャケットを着用する。
6. 組み立て部品が落下しかけたら、その部品を取ろうとせずそのまま落としてください。アンテナ、マスト、ケーブル、金属支線ワイヤは、非常に優れた電流導体です。これらの部品の一部でも電力線に接触すると、アンテナや設置者に電気が通ることを忘れないでください。
7. アンテナ システムの一部が電力線に接触している場合には、その部分に触ったり自分で取り除こうとしないでください。地域の電力会社に連絡してください。電力会社の担当者がその部品を安全に取り除きます。
8. 電力線に関する事故が発生した場合には、すぐに有資格者に助けを求めてください。

取り付け上の注意事項

このアンテナは、アクセス ポイントの専用取り付けパネルに取り付けるように設計されています。特殊な工具は必要ありません。

アンテナには、室外環境への全面的な耐性があります。したがって、シスコは、ケーブルやアンテナに防水素材を使用することは推奨していません。このような素材を使用すると、重要な排水穴をふさぐ原因になる場合があります。アンテナのベースには、4つの排水穴があります。

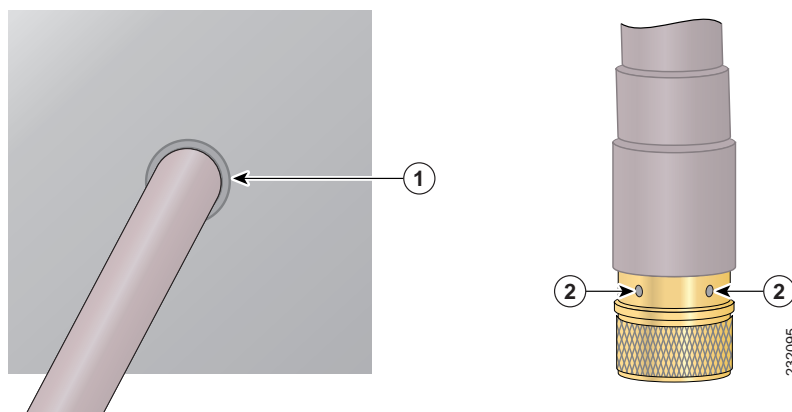
さらに、アンテナの先端のキャップの下にも排水穴があります。アンテナが、キャップに対して地面方向に取り付けられている場合に、これらの穴で適切な排水が行われます。



(注) キャップに損傷がないか確認してください。

図 1 は、アンテナ ベースと、アンテナ キャップの下の排水穴の位置を示しています。

図 1 アンテナ排水穴の位置



1	2
キャップの下のアンテナ排水穴	ベースのアンテナ排水穴

取り付け場所の選択

このアンテナは、全方向性ブロードキャストパターンを生み出すように設計されています。このパターンを実現するには、放射素子の横に障害物がこないようにアクセス ポイントを取り付ける必要があります。取り付け場所が、建物や鉄塔の側面の場合は、アンテナパターンの特性が、建物や鉄塔の側面で低下してしまいます。

一般に、アンテナと地面との間の距離が離れるほど、パフォーマンスは向上します。アンテナを適切に取り付けるには、屋根の線の上、約 1.5 ~ 3m (5 ~ 10 フィート) にすべての電力線と妨害物から離して設置します。

必要な工具と備品

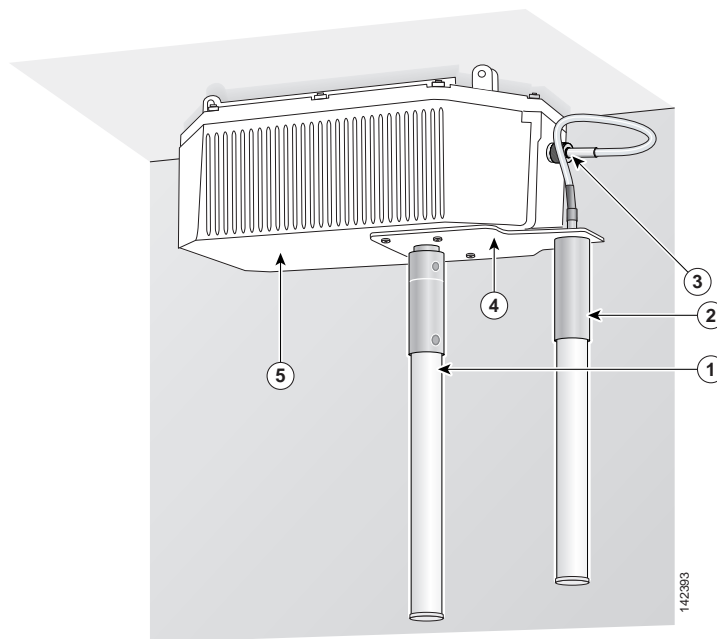
アンテナをアクセスポイントの2.4GHzアンテナ取り付けパネルに固定するのに工具は必要ありません。

アクセスポイントの取り付けに必要な工具については、アクセスポイントの該当するマニュアルを参照してください。

アンテナの取り付け

アクセスポイントにアンテナを取り付けるには、図1のように、アンテナをアクセスポイントのアンテナコネクタの下に差し込み、手で回して強く締め付けてください。

図2 アンテナの取り付け



1	2.4GHz アンテナ	4	アンテナ取り付けパネル
2	5GHz アンテナ	5	アクセスポイント
3	5GHz アンテナ コネクタ		

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

本書または Web サイトに記載されているその他の商標はすべて、それぞれの会社の所有物です。「パートナー」という語の使用は、シスコと他の企業との間の提携関係を意味するものではありません。(0709R)

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

DOC-J-7818053=
78-18053-01-J